★学校教育目標		★重点計画の概要 (1)基礎学力の充実と学力向上 1年次において、数学に力を入れ授業を行う。数学の少人数集団による学習指導、習熟度別指導、TTによる授業を展開し、小学校の遅れを取り戻させる。 (2)健やかな生徒の育成とスポーツ活動の推進 体力の向上を目的に体育の授業の充実、部活動の奨励をもとにスポーツ活動の推進を図る。 (3)保護者・地域に開かれた、信頼される学校づくり
★目指す学校像（ビジョン）		
【めざす児童・生徒像】	・明るく、たくましく、目標に向かって伸びようとする生徒 ・集団として協力し、高め合う生徒 ・あいさつを交わす生徒 ・清掃で美化意識を高める生徒 ・校歌を高らかに歌う生徒	
【めざす学校像】	・生徒にとって生きがいと誇りのもてる学校 ・教員にとって生きがいと自信が持てる学校 ・保護者・地域にとって信頼でき、期待できる学校 ・健康で安全な学校	
【めざす教師像】	・生徒とともに感動ができる教師 ・相互に信頼関係と協力体制がもてる教師 ・積極的な教育活動ができる教師 ・健康で安全な学校	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	
				取組指標	成果指標
子供	学ぶ楽しさを味わい、自ら進んで学習に取り組む姿勢を育て、学力向上を図る。	教員はユニバーサルデザインを意識した授業を実践し、ICT機器を活用し分かる授業を展開する。生徒は分かることの楽しさを味わい、自ら進んで授業に参加させ、基礎学力を身に付けさせる。	教員は、特別支援教育のステージ②までを実施し、個に応じた授業を行う授業を実践する。生徒自ら学び、授業中の課題、宿題を確実にこなすなど、家庭学習が定着するように指導を行なう。	4 授業のUD化・ステージⅡを含む授業改善、個に応じた授業双方ができた職員割合が80%以上	4 授業中は自ら進んで学習し、宿題を毎回出せた生徒割合が80%以上
				3 授業のUD化・ステージⅡを含む授業改善、個に応じた授業双方ができた職員割合が80%未満	3 授業中は自ら進んで学習し、宿題を毎回出せた生徒割合が80%未満
				2 授業のUD化・ステージⅡを含む授業改善、個に応じた授業双方ができた職員割合が60%未満	2 授業中は自ら進んで学習し、宿題を毎回出せた生徒割合が70%未満
				1 授業のUD化・ステージⅡを含む授業改善、個に応じた授業双方ができた職員割合が40%未満	1 授業中は自ら進んで学習し、宿題を毎回出せた生徒割合が60%未満
子供	人権意識を高め、自他を大切に、より良く生きる力を育てる。	道徳授業を通じ、道徳心、人権意識を高め、あいさつやマナーなど、社会生活の基本を育て、実践できる力を育てる。	平素より、教師自ら挨拶を励行し、生徒があいさつしやすい環境を作り。生徒自らが率先して挨拶ができるようにする。また、いじめ調査を月一回行い、いじめの早期発見を行う。	4 あいさつ運動への参加といじめ調査実施後の期発見・対応ができた職員割合が80%以上	4 自ら進んで挨拶ができるようになったと実感できた生徒割合が80%未満
				3 あいさつ運動への参加といじめ調査実施後の期発見・対応ができた職員割合が80%未満	3 自ら進んで挨拶ができるようになったと実感できた生徒割合が80%未満
				2 あいさつ運動への参加といじめ調査実施後の期発見・対応ができた職員割合が70%未満	2 自ら進んで挨拶ができるようになったと実感できた生徒割合が70%未満
				1 あいさつ運動への参加といじめ調査実施後の期発見・対応ができた職員割合が60%未満	1 自ら進んで挨拶ができるようになったと実感できた生徒割合が60%未満
子供	自らの心と体に関心をもち、生活習慣を育ませる。	子どもたちが身の回りにおける危険を予測し、回避できる力を身に付け、安全を意識して行動できる力を育てる。自分の心と体への関心を高め、望ましい食生活、運動習慣を身に付けさせる。	月一回の安全指導、避難訓練を適切に実施し、生徒の意識を高めた授業を実施する。また、引き取り訓練、小中連携防災訓練において、生徒を積極的に参加させ、自ら危険を予測し、他者の安全を意識した行動がとれるように指導する。	4 安全指導、避難訓練を通して生徒に望ましい防災の意識を育むことができた教員割合が80%以上	4 地域、PTA、小学校と協力した行事に参加し、自ら考え判断できるようになったと答えた生徒割合が80%以上
				3 安全指導、避難訓練を通して生徒に望ましい防災の意識を育むことができた教員割合が80%未満	3 地域、PTA、小学校と協力した行事に参加し、自ら考え判断できるようになったと答えた生徒割合が80%未満
				2 安全指導、避難訓練を通して生徒に望ましい防災の意識を育むことができた教員割合が70%未満	2 地域、PTA、小学校と協力した行事に参加し、自ら考え判断できるようになったと答えた生徒割合が70%未満
				1 安全指導、避難訓練を通して生徒に望ましい防災の意識を育むことができた教員割合が60%未満	1 地域、PTA、小学校と協力した行事に参加し、自ら考え判断できるようになったと答えた生徒割合が60%未満
教職員・学校	生徒が安心して学べる環境を整え、学校と家庭、地域、関係機関と連携し、個に応じた指導を行なう。	教員が生徒一人ひとりが落ち着いて過ごせる教室環境を作り上げる。さらに、生徒・保護者のニーズに合った関係機関への適切なつなぎを行うことで、きめ細かな支援を行う。	授業規律を徹底させ、生徒が落ち着いて学習できる雰囲気を作り上げる。教員は配慮を要する生徒の保護者との面談を適切に行い、保護者が子どもの特性を受容する気持ちを高めるさせる。	4 授業規律の徹底が確実にこなせた教員割合が90%以上	4 落ち着いて授業に取り組めた生徒割合が90%以上
				3 授業規律の徹底が確実にこなせた教員割合が90%未満	3 落ち着いて授業に取り組めた生徒割合が90%未満
				2 授業規律の徹底が確実にこなせた教員割合が80%未満	2 落ち着いて授業に取り組めた生徒割合が80%未満
				1 授業規律の徹底が確実にこなせた教員割合が70%未満	1 落ち着いて授業に取り組めた生徒割合が70%未満
教職員・学校	教員が生徒の学力向上の策を考え、平素の授業で実践する。さらに、生徒の土曜補習への参加を促し、教員自らも指導に当たり、個に応じた学習補充を行う。	土曜補習授業や学力向上の取り組みにおいて、教員が指導を行ない、普段行えない個別指導を実践し、個に応じた学習補充を行う。	4 土曜補習授業、学力向上の取り組みに3回以上取り組んだ教員割合が80%以上	4 成績が伸びたと実感した生徒割合が50%以上	
			3 土曜補習授業、学力向上の取り組みに3回以上取り組んだ教員割合が80%未満	3 成績が伸びたと実感した生徒割合が50%未満	
			2 土曜補習授業、学力向上の取り組みに3回以上取り組んだ教員割合が70%未満	2 成績が伸びたと実感した生徒割合が30%未満	
			1 土曜補習授業、学力向上の取り組みに3回以上取り組んだ教員割合が60%未満	1 成績が伸びたと実感した生徒割合が10%未満	
学校、家庭、地域・社会	防災、防犯・安全への関心を高め、自ら判断し、すすんで行動し、地域・社会に貢献できる子供を育てる。	絆づくりと活力あるコミュニティの形成をめざし、防災訓練、命のミュージアムの開催を行い、人々が支え合う地域、学校を作りを行う。	地域（消防署、警察署など）、小学校、中学校、PTAの協力の基、地域訓練を実施する。また、PTAとの協力の基、命のミュージアムを開催し、自ら進んで行動できる判断力、創造力を育てる。	4 地域、PTA、小学校などと協力した行事を5回実施	4 学校が家庭、地域・社会と一体となった取り組みを行なっていると実感した保護者の割合が80%以上
				3 地域、PTA、小学校などと協力した行事を4回実施	3 学校が家庭、地域・社会と一体となった取り組みを行なっていると実感した保護者の割合が80%未満
				2 地域、PTA、小学校などと協力した行事を3回実施	2 学校が家庭、地域・社会と一体となった取り組みを行なっていると実感した保護者の割合が70%未満
				1 地域、PTA、小学校などと協力した行事を2回実施	1 学校が家庭、地域・社会と一体となった取り組みを行なっていると実感した保護者の割合が60%未満

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。